

# 様々な困難を抱える子ども・若者の 支援のあり方を考えるシンポジウム

2018  
3月3日(土)  
13:30~16:30

## 《プログラム》

- 1 講演「発達障がい者等の働き方を支援して」  
講師 蛭原 かおり 氏 (NPO 法人宮崎障害者雇用支援センター主任)
- 2 2017 年度事業報告  
城戸 松豪 氏、土井 順之 氏 (各教室責任者)
- 3 井戸端会議「子ども・若者の抱える困難さと課題」  
パネリスト 戸高 峰子 氏 (宮崎市社会福祉課自立就労支援係長)  
小原 尚美 氏 (みやざき若者サポートステーション総括コーディネーター)  
蛭原 かおり 氏 (NPO 法人宮崎障害者雇用支援センター主任)  
司会進行 亀澤 克憲 氏 (NPO 法人みやざき教育支援協議会代表理事)

### 会場

宮崎県福祉総合センター本館セミナールーム 宮崎市原町 2 丁目 22 番地

### 対象

行政職員・教職員・各社協・支援団体・学生・NPO 法人などで支援に関わっていらっしゃる方、  
これから関わりたい方、興味のある方など、どなたでも OK!

### 会費

無料

### 定員

30 名 (定員になり次第、締め切ります)

主催 NPO 法人みやざき教育支援協議会

共催 (有)サン・グロー、NPO 法人宮崎県ボランティア協会

お申込み・お問合せは、お電話・FAX・メールにてお願いします。

【TEL & FAX】 **0985-41-4451** 【メール】 [info@npomesc.jp](mailto:info@npomesc.jp)

受付 13:00~17:00

# シンポジウム主旨

「子どもの貧困」に関わるなかで、引きこもりや発達障がいなど、さまざまな困難を抱える子ども・若者がいることに気づかされま  
す。学習支援の前に本人の意欲格差や経験格差があり、親支援の必要性も指摘されています。また、各自の抱える困難さ（発達特性）  
への理解に加えて、安心し信頼できる環境づくりがとても大事になってきています。個々のケースにより支援のあり方も変えざるを得  
ません。今回のシンポジウムではその前線で活躍されている方にお集まりいただき、①取り組みの概要と実態、②成功事例、失敗事例、  
何が問題？ ③今できること、求められること（具体的な対応策）などについて語っていただきます。

## 講師・パネリスト・コーディネーター プロフィール



### 蛸原 かおり 氏

鹿児島県出身。2006年から宮崎障害者雇用支援センターにて従事。職業準備指導員、  
就労支援員、生活支援員、相談支援専門員等を経る。現在は、地域における障害者雇  
用への理解と協力を求め、企業、関係機関や保健センター、地域の中学校・支援学校・  
PTA、地区社協等にむけた推進活動を行っている。



### 戸高 峰子 氏

兵庫県出身。縁あって宮崎市に上陸し、中核市になった平成10年に宮崎市役所に入庁。  
平成25年に初めての福祉分野への異動で、生活保護ケースワーカーを経験。様々な世  
帯と向き合い世界が広がる。その後、翌年に開設した生活困窮者の自立相談支援セン  
ターで相談員をつとめ2年前より現職。



### 小原 尚美 氏

鹿児島県出身。今年28歳になる長男が中学3年生の時にアスペルガー症候群と診断さ  
れ、当時は専門家以外誰も知ることがなく支援もなく、どのように声を上げればよい  
か分からなかった。診断から6~7年経った時に発達障がい者と家族の支援活動を始め  
た時に、サポステのジョブトレの受入をした事がきっかけでサポステスタッフとなり、  
現在に至る。人の成長を見ることがたまらなく好きで幸せを感じる。



### 亀澤 克憲 氏

熊本市生まれ。2011年宮崎県職員を退職後、教育 ICT 支援を中心にした NPO 法人を立  
ち上げる。2015年度から eラーニング等を活用した「生活困窮世帯への学習支援」に  
取り組む。福祉分野に関わるようになって、いろんな人との出会いが楽しく、また考え  
させられることが多い。教育情報化コーディネーター、地域福祉コーディネーター

会 場：宮崎県福祉総合センター本館（宮崎市原町2丁目22番）

駐車は整備員の指示に従ってください。



参加申込書 FAX : 0985-41-4451 e-mail : info@npomesc.jp

ふりがな		ご所属 (任意)	
お名前			
電話番号	-	メールアドレス	@

この個人情報は、他の目的には使用いたしません。